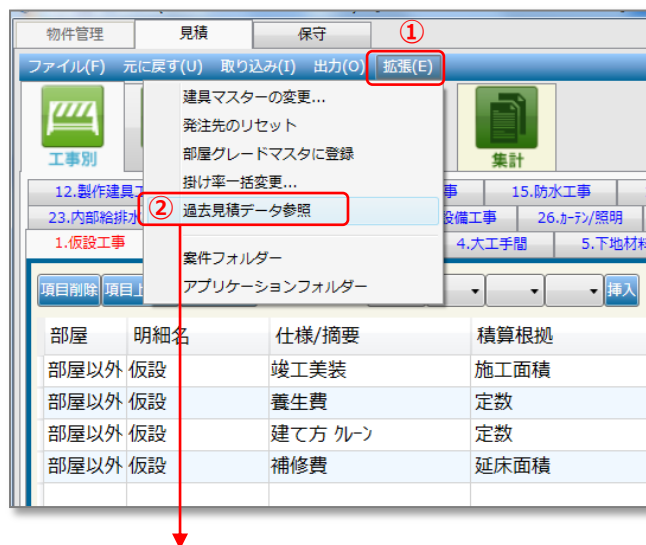


「カンタン見積計画」 Ver.1.51.26 新機能概要

1. 過去の見積データの参照・再利用
2. 見積作成時のテンプレートの上書き登録
3. 明細項目の検索機能
4. 掛け率一括変更
5. 工事名・部屋名の出力順変更機能
6. 経費率設定の拡張
7. DTX の最新バージョンへの対応
8. 出力機能の拡張
9. 明細項目、単位の表示順設定
10. 任意タブの追加機能（リフォームモード）
11. MASTER 保守のパスワード設定、項目の表示・非表示設定
12. 片引窓、両袖片引窓 の設定

1. 過去の見積データの参照・再利用

見積作成時に、作成済みの見積書を別ウィンドウで開くことができるようになりました。
これにより、見積作成中に過去の見積を参照したり、過去の見積書から必要な項目や項目郡をコピー＆貼り付けすることもできます。明細マスターに未登録の項目をコピーして、明細マスターに登録することもできます。



〔操作手順〕

①画面上の「拡張」をクリック。

②プルダウンメニューから、
“過去見積データ参照”を選択。
<参照モード>の物件管理画面が
表示されます。

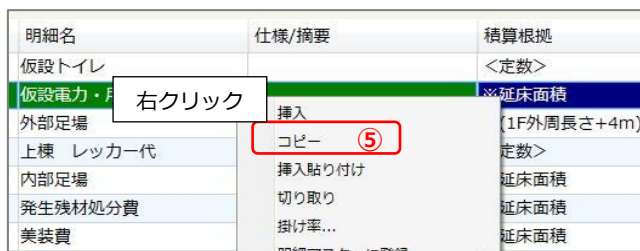
③ 過去の見積画面



③<参照モード>の物件管理画面から、
過去作成した見積を開きます。

④必要な項目を選択(複数可)して
右クリック→“コピー”をクリック。

作成中の見積画面

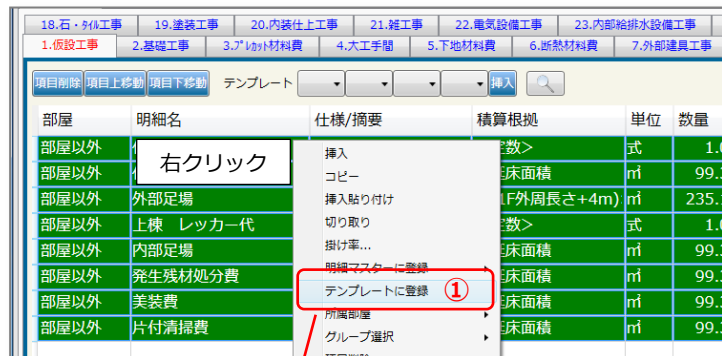


⑤作成中の見積上で右クリック。
→プルダウンメニューから
“挿入貼り付け”を選択。

※上記の“挿入貼り付け”を行う際に、[数量再計算する・しない]の選択ができる場合があります。(部屋別モード時のみ)
コピー先(作成中の見積)の数量を反映したい場合は[数量再計算する]を、コピー元(過去の見積)の数量を反映したい場合は[数量再計算しない]を選んでください。

2. 見積作成時のテンプレートの上書き登録

見積作成画面でテンプレートの上書き登録ができるようになりました。
旧バージョンでは、テンプレートは保守画面でしか登録できませんでしたが、明細項目と同様に、見積作成画面から、見積の作成中に登録・上書きができるようになり、作業効率がアップしました。



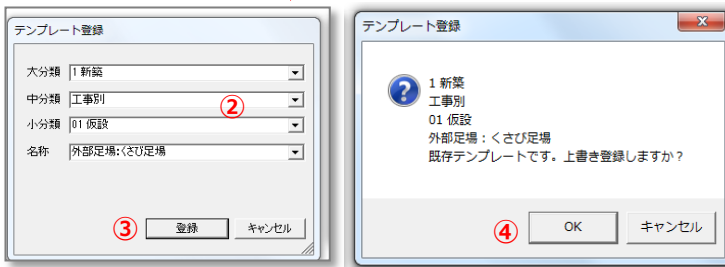
〔操作手順〕

①見積作成画面で右クリック。

②テンプレート登録ウィンドウの“大分類”から“名称”までの4項目を選択または入力。

③「登録」をクリック。

④確認ウィンドウで“OK”をクリック。



3. 明細項目の検索機能

明細項目を、項目名などの文字列によるキーワードで検索できるようになりました。
特定の明細項目がマスターに登録されているかどうかの確認や、プルダウンメニューの選択肢が多い時など、目的の項目をすばやく探し出し挿入するのに便利です。



〔操作手順〕

①あらかじめ明細項目を挿入したい行をクリック。

②テンプレート挿入アイコンの右の検索アイコンをクリック。

③検索したいキーワードを入力。

④「明細リスト更新」をクリック。

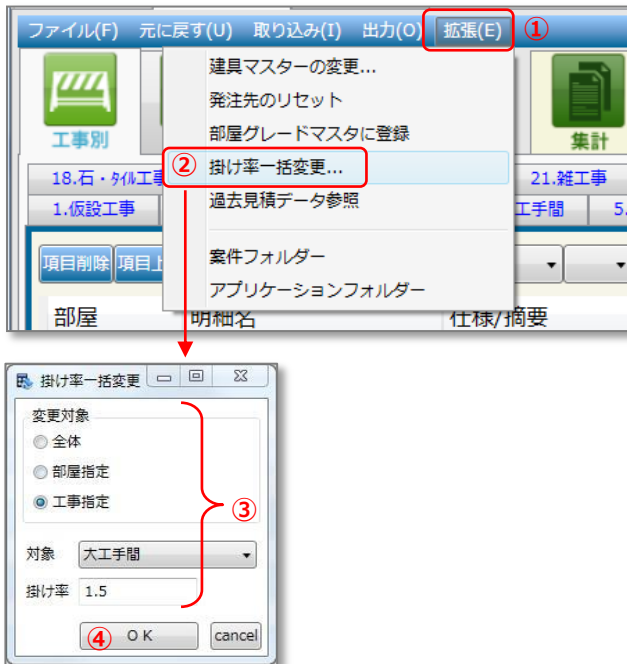
⑤必要な明細項目を選択。

⑥「明細挿入」をクリック。



4. 掛け率一括変更

「掛け率」を、工事全体、または工事単位、部屋単位に一括変更できるようになりました。
これにより、グループごとの掛け率の変更が容易になりました。



〔操作手順〕

- ①画面上の「拡張」をクリック。
- ②プルダウンメニューから“掛け率一括変更”を選択。
- ③“掛け率一括変更”ウィンドウで、“変更対象”“対象”を選択し、掛け率を入力。
- ④“OK” をクリック。

5. 工事名・部屋名の出力順変更機能

エクセル出力する際の大項目（工事名称・部屋名称）の出力順を集計画面で任意に変更できるようになりました。
特にリフォーム見積の際の「部屋別」見積では、ワークインホームで入力した順に部屋名が出力されていましたが、集計一覧で変更できるようになりました。



〔操作手順〕

- ①「集計」画面を開きます
- ②“表示順”欄に出力したい順を入力
- ③下部の“並べ替え”をクリック

6. 経費率設定の拡張

集計画面での経費率の設定機能が拡張され、より複雑な設定ができるようになりました。
「社内経費」（予備費）などを経費率で設定したり、明細項目で「材/工」フラグにチェックを入れることで「材」の合計に対する経費や「工」の合計に対する経費が設定できるようになりました。

集計画面

	見積金額	実行金額	粗利	利益率
工事金額	19,827,771	14,282,010	5,545,761	
諸経費 %	10.0	1,982,777		
社内経費1	3.0		654,316	
社内経費2	0.0		0	
社内経費3		0	0	
材-経費	0.0	0	0.0	0
工-経費	0.0	0	0.0	0
材工-経費	0.0	0	0.0	0
計	21,810,548	14,936,326	6,874,222	
値引き		0	0	
計(税別)	21,810,548	14,936,326	6,874,222	31.52
消費税 %	8	1,744,843		
計(税込)	23,555,391			

集計画面の一覧で経費率や経費金額を入力します。
また、あらかじめ「保守」で経費率を設定しておくことで、いつも決まった経費率を自動で計算して合計金額に反映することができます。

※消費税の初期値は8%です。必要に応じて変更可能です。

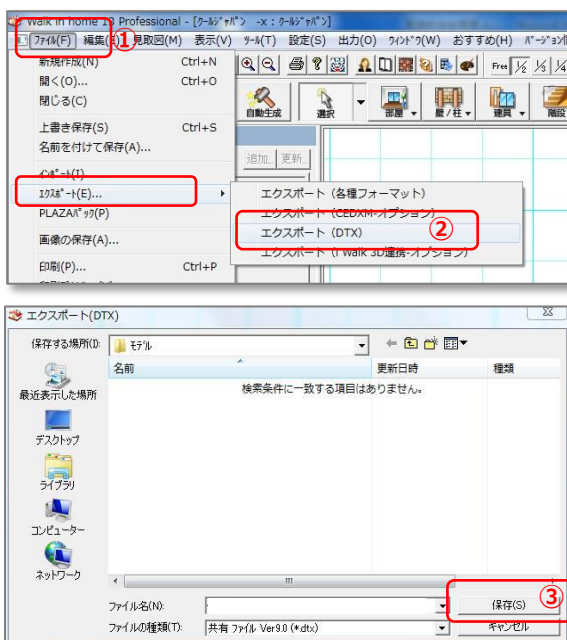
経費率データ					工事データ	異種データ	発注先	単位データ	テンプレート
保存					データ				
No	名称	表示名	率(%)	説明					
1	諸経費	諸経費	10	見積に反映：(見積金額) * 諸経費					
2	社内経費1	社内経費1	0	原価に反映：(見積金額+諸経費-値引き) * 社内経費1					
3	社内経費2	社内経費2	0	原価に反映：(見積金額+諸経費-値引き) * 社内経費2					
4	社内経費3	社内経費3	0						
11	材-見積掛け率	材-見積掛け率	0	材-見積掛け率					
12	工-見積掛け率	工-見積掛け率	0	工-見積掛け率					
13	材工-見積掛け率	材工-見積掛け率	0	材工-見積掛け率					
14	材-原価掛け率	材-原価掛け率	0	材-原価掛け率					
15	工-原価掛け率	工-原価掛け率	0	工-原価掛け率					
16	材工-原価掛け率	材工-原価掛け率	0	材工-原価掛け率					
10001	消費税	消費税	8	消費税					

【初期値の設定手順】

- ①画面上の「保守」をクリック。
- ②保守画面が立ち上がったら「経費率データ」を開きます。
- ③“表示名”“率(%)”を変更。
- ④“保存”をクリック。

7. DTX の最新バージョンへの対応

ウォークインホームからエクスポートされる「共有ファイル (dxt)」の最新バージョン 9.0 が取り込み可能となりました。以前はファイルの種類を必ずバージョン 7.1 に変更する必要がありましたが、そのまま出力できます。



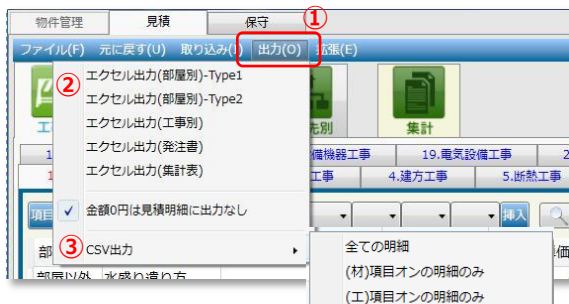
【エクスポート手順】

- ①画面上の「ファイル」をクリック。
- ②プルダウンメニューから“エクスポート” → “エクスポート (DTX)”をクリック。
- ③エクスポート画面が出たら“保存先”も“ファイルの種類”も変更せずに“保存”をクリック。

8. 出力機能の拡張

「エクセル出力（部屋別）」時に、出力方法を2タイプから選択できるようになりました。
また、CSV出力の方法も追加されました。

〔操作手順〕



①画面上の「出力」をクリック。

②プルダウンメニューに以下の選択肢が追加されました。
・[type-1]・・・各部屋ごとに自動で「中項目」を作成して工事ごとにまとめる。
・[type-2]・・・作成した見積書どおりに出力。（従来どおり）

③「csv 出力」の追加

「材/工」フラグにチェックを入れた項目をそれぞれ csv で出力できます。

〔Type-1〕

No	名 称	摘 要	数量	単位
5	LDK			
	＜ 仮設工事 ＞			
	養生費	内部養生	33.4	㎡
	＜ 解体工事 ＞			
	既存キッチン・壁タイル撤去処分		1.0	式
	＜ 大工工事 ＞			
	壁 既存タイル部分補修・キッチンパネル下地		1.0	式
	壁 一部キッチンパネル貼		1.0	式
	＜ 内装工事 ＞			
	壁 ビニールクロス貼替	材工 めぐり処分共	48.2	㎡
	天井 ビニールクロス貼替	材工 めぐり処分共	31.2	㎡
	＜ 設備機器工事 ＞			
	システムキッチン/W=2550	IHコンロ	1.0	式
	キッチン組立施工費	ガスコンロタイプ標準	1.0	式
	＜ 電気設備工事 ＞			
	IH用コンセント		1.0	か所

〔Type-2〕

No	名 称	摘 要	数量	単位
5	LDK			
	養生費	内部養生	33.4	㎡
	既存キッチン・壁タイル撤去処分		1.0	式
	既存切り離し・配管撤去	給排水・ガス	1.0	式
	壁 既存タイル部分補修・キッチンパネル下地		1.0	式
	壁 一部キッチンパネル貼		1.0	式
	壁 ビニールクロス貼替	材工 めぐり処分共	48.2	㎡
	天井 ビニールクロス貼替	材工 めぐり処分共	31.2	㎡
	システムキッチン/W=2550	IHコンロ	1.0	式
	キッチン組立施工費	ガスコンロタイプ標準	1.0	式
	IH用コンセント		1.0	か所
	200V電源工事		1.0	式

9. 明細項目、単位の表示順設定

見積作成画面で「明細名」「仕様/適用」「単位」等を変更する際の、プルダウンメニューの表示順を設定できるようになりました。

あらかじめ「保守」で設定しておくことで、良く使う項目を上位に表示したり、同じ種類の項目を並べて表示させるなどの設定ができます。

(例)

〔表示順設定前〕

明細名	仕
床 断熱材	
床 無垢フローリング	
床・柱 黒楡削丸	
床の間セット 一間二段框床	
床下収納庫	
床下点検口	
畳 寄 桧	
石膏ボード12.5mm	
石膏ボード9.5mm	
専用接着剤他	
中段	
天井 下地材料	
天井 断熱材	
天井 点検口	
天井板	
付け框	
壁 下地材料	
壁 断熱材	
壁 木下地材料	

〔表示順設定後〕

明細名	仕
石膏ボード9.5mm	
専用接着剤他	
中段	
天井 点検口	
付け框	
枕棚	
落し掛け 杉証貼り	
床 下地材料	
床 下地合板	
床 断熱材	
床 カラーフロア	
壁 断熱材	
壁 下地材料	
壁 木下地材料	
石膏ボード12.5mm	
天井 断熱材	
天井 下地材料	
バスリブ	
天井板	

①

②

③

Lv	Code	表示順序	工事	工事CD	明細名	仕様/摘要	業種
99	99	20	建材工事	11	床 下地材料		建材
99	100	21	建材工事	11	床 下地合板		建材
99	103	22	建材工事	11	床 断熱材		建材
99	107	23	建材工事	11	床 下地材料	撤去部分	建材
99	108	24	建材工事	11	床 下地合板	撤去部分	建材
99	110	25	建材工事	11	床 断熱材	撤去部分	建材
99	115	26	建材工事	11	床 カラーフロア		建材
99	2729	27	建材工事	11	床 緑甲板	(広縁)	建材
99	131	28	建材工事	11	壁 木下地材料		建材
99	134	29	建材工事	11	壁 断熱材		建材
99	135	30	建材工事	11	壁 下地材料		建材
99	150	31	建材工事	11	壁 木下地材料	既存和室部分	建材
99	2466	32	建材工事	11	壁 木下地材料	キッチン/パネル下地	建材
99	132	33	建材工事	11	石膏ボード12.5mm	既存和室部分	建材
99	1669	34	建材工事	11	石膏ボード12.5mm		建材
99	2465	35	建材工事	11	石膏ボード12.5mm	キッチン/パネル下地	建材
99	2594	36	建材工事	11	石膏ボード12.5mm	耐水(洗面所、トイレ?)	建材
99	2725	37	建材工事	11	石膏ボード12.5mm	耐水(洗面所、トイレ)	建材
99	2726	38	建材工事	11	石膏ボード12.5mm	(全部屋)	建材
99	161	40	建材工事	11	天井 断熱材		建材
99	163	41	建材工事	11	天井 下地材料	既存和室部分	建材
99	169	42	建材工事	11	天井 下地材料		建材
99	173	43	建材工事	11	バスリブ		建材
99	178	44	建材工事	11	天井板		建材
99	2580	45	建材工事	11	天井板	3坪以下	建材

〔操作手順〕

①「保守」画面の上部“明細データ”を開きます。

②“表示順序”欄にプルダウン時に表示させたい順序を入力

③“保存”をクリック

※表示順は全明細の通し番号をつける必要はありません。工事ごとに表示させたい順序を入力してください。また、同じ工事内に同じ表示順が複数あった場合には、「あいうえお順」に並びます。

10. 任意タブの追加機能（リフォームモード）

リフォームモードで部屋別見積を作成する際に、以前のバージョンでは「物件-部屋以外」タブに仮設や解体などの部屋以外の工事をすべて挿入していましたが、任意のタブを作成してテンプレートを挿入できるようになりました。これにより部屋別見積でも「共通仮設」「解体工事」など、工事別見積の項目を追加できるようになりました。

①

②

グレード	工事	建具
＜リフォーム＞	0	なし
＜リフォーム＞	1	玄関
＜リフォーム＞	2	廊下
＜リフォーム＞	3	和室
＜リフォーム＞	4	洋室
＜リフォーム＞	5	キッチン
＜リフォーム＞	1004	外部階段
＜リフォーム＞	1005	吹抜
＜リフォーム＞	1006	バルコニー
＜リフォーム＞	2001	追加部屋-1
＜リフォーム＞	2002	追加部屋-2
＜リフォーム＞	2003	追加部屋-3
＜リフォーム＞	2004	追加部屋-4
＜リフォーム＞	2005	追加部屋-5
＜リフォーム＞	2006	追加部屋-6
＜リフォーム＞	2007	追加部屋-7

〔操作手順〕

①「保守」の上部“部屋引当”を開きます
(新築モードは“グレード”を開きます)

②新築モードはグレードで“＜リフォーム＞”を選択

③“追加部屋-1”～“追加部屋-10”にテンプレートを設定します。

※選択したテンプレート名が追加タブの名称になります。

物件-部屋以外	物件-共通仮設工事	物件-解体工事	物件-産業廃棄物処理	1階-なし	1階-廊下	1階-洋室1	1階-洋室2	1階
項目削除	項目上移動	項目下移動	テンプレート	1 新築	部屋別	01 玄関	床:150角タイル+壁クロス	挿入
工事	明細名	仕様/摘要	積算根拠	単位	数量	単価	掛率	一式 金
仮設工事	仮設トイレ		<定数> 式		1.0	43,200	1.44	4
仮設工事	家具移動費		<定数> 式		1.0	42,860	1.43	4
電気設備工事	エアコン脱着		<定数> 台		1.0	10,000	1.43	1

1 1. MASTER 保守のパスワード設定、項目の表示・非表示設定

「保守」画面を開くためのパスワードを設定できるようになりました。管理者だけが原価管理をしたい場合などに設定しておく、ユーザーは「保守」を開くことができません。また、見積作成画面の項目の表示・非表示を選択することも可能になり、原価管理とあわせてユーザーに原価を見せたくない場合などに有効です。(右上の粗利・利益率は表示されます。)

※パスワードの設定方法、表示・非表示設定は安心計画テクニカルサポートへお問い合わせください。

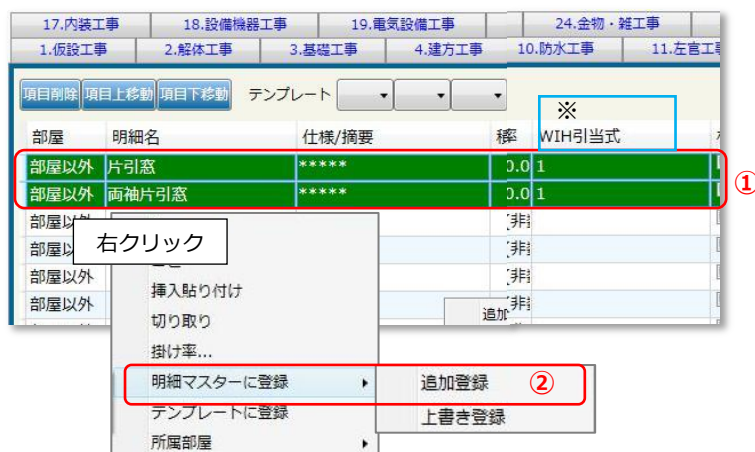
1 2. 片引窓、両袖片引窓 の設定

ウォークインホーム ver14 から、建具の種類に「片引窓」「両袖片引窓」が新設されました。このサッシを入力した場合、旧バージョンの見積マスターのままでは連動しないため、以下の設定が必要です。

① デフォルト建具引当

建具の設定には、拾い漏れしないがサイズによる拾い分けのできないデフォルト建具引当と、サイズによる拾い分けが可能だが設定が煩雑なマトリクス設定とがありますが、まず設定の簡単なデフォルト建具引当を行なってください。

(※サイズによる拾い分け設定はマトリクス設定を参照してください。)



【操作手順】

①見積作成画面でそれぞれの明細項目を作成します。

※WIH 引当式には「1」を入力しておきます。

②作成した明細項目を選択して右クリック“明細マスターに登録”→“追加登録”します。



③「保守」画面で“デフォルト建具引当”を開きます。

④“片引窓”をダブルクリックして、登録しておいた明細項目を選択します。“両袖片引窓”も同様に設定します。

⑤“保存”をクリックして終了します。

※マトリクスをメインに設定するときも、デフォルト建具引当を併用して登録しておくことで、マトリクスで拾い漏れをしたサイズの建具が拾われます。

以上で「カンタン見積計画」Ver.1.51.24 で追加された新機能の説明を終わります。不明な点等がございましたら、安心計画サポート (TEL: 050-5527-5710) までお問い合わせください。